

第26回（令和5年度） 下水道管路管理主任技士
 実地試験（Ⅰ. 成果報告書作成に関する実務）【解答用紙】

解答例

受験番号

【問1】 本管用調査記録表

上流マンホール					下流マンホール																														
マンホール番号	マンホール種別	マンホール深	土被り	マンホール蓋種別	路線番号	管種	管径	マンホール間延長	マンホール番号	マンホール種別	マンホール深	土被り	マンホール蓋種別																						
26	1号マンホール	2.51 m	2.23 m	铸铁	23-1	ヒューム管	φ 250 mm	15.40 m	27	1号マンホール	2.73 m	2.45 m	铸铁																						
マンホール内点検					マンホール内点検																														
異状なし					異状なし																														
継手部	継手数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	-	管口								管本数															
	写真番号																			[9 本]															
	内容		継手ズレ c	継手ズレ c				管の破損 a	継手ズレ c			管の破損 a								管不良本数 [5 本]															
	距離 (m)	0.45	1.49	3.53			7.57	9.61			13.66		14.93							取付け管数 [2 箇所]															
																				DVD番号															
本管部	本管数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	9									[1 巻]															
	写真番号																			布設年度															
	内容	管の起 点 腐食 B						管の破損 c			円ク 周ラ 入方 ツ水 向ク cc	管の終 点 腐食 B								[平成 5 年]															
距離 (m)	0.45					7.63~ 7.74				14.65	14.93								占用位置																
取付け管部	取付番号				T-1	T-2														1. 国道															
	写真番号																			2. 県道															
	内容				右取 付け 管	左取 付け 管														3. 市町村道															
距離 (m)				6.02	7.05															4. 私道															
考 察	(例) 破損やクラックを修繕する必要がある。 腐食が進行して箇所があるため経過観察を行うとともに、管更生や修繕の検討が必要がある。																																		
異状箇所 ※1	管の腐食		上下方向の たるみ			管の破損			管のクラック			管の継手ズレ			浸入水			取付け管 の突出し			油脂の 付着			樹木根侵入			モルタル 付着			計 ※1					備 考
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A	B	C	a	b	c		
							2						3						()	()	()	()	()	()	()	()	()				2	3			
		1						1					1						()	()	()	()	()	()	()	()		1			3				
		1					2		1				1						()	()	()	()	()	()	()	()		1		2	6				

※1 「取付け管の突出し」「油脂の付着」「樹木根侵入」「モルタル付着」については、清掃等で除去できる項目とすることから異状箇所数のみ () 内に表記し、集計の対象外とする。

【問2】 スパン全体の評価と緊急度の判定

正 答

受験番号	
------	--

※ 設問の本管用調査記録表は、問1の解答とは異なります

(1) スパン全体で評価した場合のランク付け

診断項目	評価のランク
管の腐食	異常なし
上下方向のたるみ	C

※ 上記の診断項目についての評価ランク（「A」「B」「C」「異常なし」）を記入すること。

(2) 管1本ごとに評価した場合のランク付け

管1本ごとの不良ランク	不良本数 (本)	本管本数 (本)	不良発生率 ^{※1} (%)	評価のランク ^{※2}
a	1	14	7	B
b	3		21	
c	2		14	

※1 不良発生率の算定結果は、率の小数点以下を四捨五入して単位止まりとする。

※2 不良発生率によるスパン全体での評価ランク（「A」「B」「C」「異常なし」）を記入すること。

(3) 緊急度の判定

・上記の(1)スパン全体での評価結果及び(2)管1本ごとの評価結果により、

本設問管きよの緊急度判定は、「緊急度： Ⅲ 」である。